

お天気解説

アキラのズバッと

東京地方の気候変動シリーズ

“Now & Then”

東京の冬はこんなに寒かった

令和6年1月26日

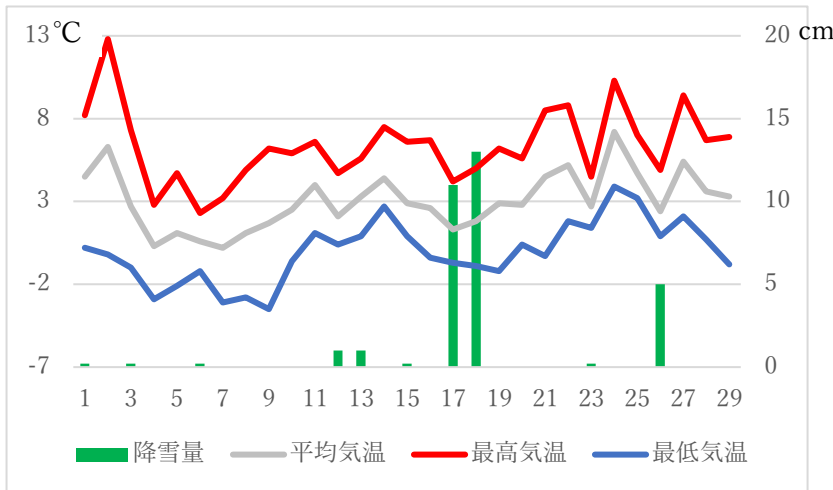
江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

今週からまた気温が急に下がりましたね。江戸川区では25日に最低気温-0.5℃とこの冬2度目の冬日を記録しました。

さて、前号では東京の平年値の昔と今を比べましたが、大きく変わったのは冬の気温（特に最低気温）です。そこで、今回は東京の昔の冬について紹介します。

まず、明治・大正時代の東京都心の冬についてですが、1月の平均気温が1~4℃前後で現在の新潟(2.5℃)と寒さがあまり変わらず、明治9年1月13日には最低気温-9.2℃を記録しました。最低気温が氷点下になる日を冬日といいます。このころは、11月から冬日になることが多く、冬期間(12~2月)の冬日は40~60日前後もあり、最低気温が-6℃~-8℃にもなる日も珍しくなかったです。しかし、近年では冬日は年間10日前後しかありません。

昭和42年2月10~12日、停滞前線の影響で東京など関東南部は3日連続の雪が降りました。東京都心では最深21cmの積雪となりましたが、11日の最高気温は0.0℃、12日はついに-0.2℃となり、最高気温が0℃未満となる「真冬日」を観測しました。2日間0℃以下だったためか、銀座に1m近い氷柱が下がっていたことが新聞記事になっていました。車の走らない道路では融けない雪の坂でスキーを楽しむ人達もいました。真冬日は1876・1895・1900



図：日々の気温と降雪量（東京都心，1984年2月） 気象庁データより作成

2024年01月26日11時 気象庁 発表			
日付	今日 26日(金)	明日 27日(土)	明後日 28日(日)
東京地方	晴	晴	曇時々晴
降水確率(%)	-/-/0	0/0/0/10	20
信頼度	-	-	-
東京 気温 (℃)	最高	11	12 (9~13)
	最低	-	3 (1~3)

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(日曜日は雲が増えそうですね・・・)

年にも観測されています。昭和59年冬は寒さが厳しく、雪がたびたび降って転倒しケガをした人が多かったです。都心でも冬期間の降雪日数は18日を数え、降雪量の合計は89cmにもなりました。最高気温がなかなか上らず、8℃を超えると暖かく感じたほどでした。

次回の“Now & Then”は、「ヒートアイランドは最低気温に顕著」です。